



「暮らして楽しい」は、あなたがつくる。

わたしたちの地方創生

そこに住む人が、そのまちを変えていく。実際に有田川町を「暮らして楽しい」まちにしようと、動き始めている方々にお話を伺いました。

有田川町を楽しむ^{おも}想いを 持って生活することが大切

立岡竜弘（高等学校教員）

滋賀県出身の私が和歌山に来て15年、有田川町に住んで10年。有田川町が第二の故郷になり始めた今年、地方創生事業に関わらせていただくことになりました。

「地域創生＝役場の仕事」これが私の地域創生に対する考え方でした。しかし、今年の6月から実際に地方創生事業に参加させていただき、「地方創生＝町民の想い」であることに気付きました。そして、何げない毎日の中に魅力的なものを多く発見するようになりました。山や川、そしてミカンはもちろんのこと、何より有田川町の未来に対する熱い情熱を持っている方々が多くいることを知りました。

町民の一人一人が自分の想いを声に出し、行動を起こすことが大切であり、何よりも有田川町を楽

しむ想いを持って生活することが大切だと思います。そんな想いを持った人たちがどんどん出てくると、必ず有田川町の未来は明るくなると思います。

有田川町が「日本一住みたいまち」になる日は遠くない

森本真輔（自営業）

「住んで楽しいまちづくりを一緒にしてみませんか？」と声をかけていただいたのが半年前。初めは住民主体のまちづくりって何だろう？自分にできることが何か一つでもあるのだろうか？という気持ちで参加させていただきました。

気付けば周りには25年先の有田川町のことを本気で話せる楽しい仲間たちがいっぱいでした。最近では私自身も地元の良いスポットや魅力をたくさん発見でき、充実した有田川ライフを満喫しております。

ポートランドチームをはじめたく